

ほしの高志の道政通信

この通信は、郵送・全戸・街頭配布をおこなっています。星野高志事務所/札幌市東区北24条東10丁目/電話750-5277



洋上風力の促進地域指定を道は誘致すべきと、経済部長に迫る星野道議(昨年12月のエネルギー委員会)

海岸線を有する市町村は、道内に80

今後の主流、洋上風力に

道議の質問受け、道が説明会を開催

再生可能エネルギー

年末の国会で「洋上風力発電促進法」が成立しました。洋上は風車の大型化が容易で陸上に比べ高い発電効率が期待できます。星野道議は、これを受け、十二月のエネルギー委員会で、道の対応を質しました

意欲的な事業者
消極的な市町村

昨春の本会議で道議は、

法律の制定を見据え、知事に対し取組の先取りをうながしていました。その結果、道は夏には海岸

線有する市町村にアンケートを実施したり、秋には発電事業者と関係市町村をマッチングさせる説明会を開いています。

説明会には、丸紅をはじめ十四事業者から参加申し込みがあるなど、洋上風力発電に意欲的な姿勢が見受けられます。

必要な道の取組強化

星野道議は経済部長に對して、「海岸線を有す

しかし参加した市町村は、様子見を含めて8つと極めて消極的だったことが、十月のエネルギー委員会における道議の質問で明らかとなりました。

星野道議は、「洋上風力発電は今後再生可能エネルギーの主流になる。法律の制定を踏まえ、道の対応が強化されるよう今後とも議論を続けていきたい」と話しています。

星野道議は、「洋上風力発電は今後再生可能エネルギーの主流になる。法律の制定を踏まえ、道の対応が強化されるよう今後とも議論を続けていきたい」と話しています。

る市町村は道内に80ある。参加者が一割というのはあまりにも市町村の関心が少な過ぎる。道の対応に問題があるのではないかと質しました。

皆様、2019年を、お元気に迎えられたことと存じます。

これに対し経済部長は、「地域におけるさらなる理解の促進と機運の醸成を図り、市町村と発電事業者が連携した洋上風力開発の取組が促進されるよう対応する」と答弁しました。

昨年、これまで経験をしたことのない大地震が発生しました。自然の驚異を改めて思い知らされた気がしません。災害を防ぐことは出来ないかもしれませ

「地域におけるさらなる理解の促進と機運の醸成を図り、市町村と発電事業者が連携した洋上風力開発の取組が促進されるよう対応する」と答弁しました。

街づくりを進めたり、個人レベルで防災グッズを準備したりは出来るはず。

星野道議は、「洋上風力発電は今後再生可能エネルギーの主流になる。法律の制定を踏まえ、道の対応が強化されるよう今後とも議論を続けていきたい」と話しています。

これは雪に閉ざれます。しかし私たちは、冬を乗り越える智慧とノウハウを長年の経験で持っています。恐いのは冬そのものではなく、準備をしないで迎える冬なのです。

星野道議は、「洋上風力発電は今後再生可能エネルギーの主流になる。法律の制定を踏まえ、道の対応が強化されるよう今後とも議論を続けていきたい」と話しています。

地球温暖化が原因の異常気象も続いています。温暖化は人間が招いたものです。ならば人間の知恵で防げるはず。そこそが政治の仕事だと思います。

星野道議は、「洋上風力発電は今後再生可能エネルギーの主流になる。法律の制定を踏まえ、道の対応が強化されるよう今後とも議論を続けていきたい」と話しています。

本年も宜しくお願ひ申し上げ、年頭の挨拶と致します。

星野道議は、「洋上風力発電は今後再生可能エネルギーの主流になる。法律の制定を踏まえ、道の対応が強化されるよう今後とも議論を続けていきたい」と話しています。

2019年1月

星野道議は、「洋上風力発電は今後再生可能エネルギーの主流になる。法律の制定を踏まえ、道の対応が強化されるよう今後とも議論を続けていきたい」と話しています。

北海道議会議員

星野道議は、「洋上風力発電は今後再生可能エネルギーの主流になる。法律の制定を踏まえ、道の対応が強化されるよう今後とも議論を続けていきたい」と話しています。

星野高志

星野道議は、「洋上風力発電は今後再生可能エネルギーの主流になる。法律の制定を踏まえ、道の対応が強化されるよう今後とも議論を続けていきたい」と話しています。

星野道議は、「洋上風力発電は今後再生可能エネルギーの主流になる。法律の制定を踏まえ、道の対応が強化されるよう今後とも議論を続けていきたい」と話しています。

星野道議は、「洋上風力発電は今後再生可能エネルギーの主流になる。法律の制定を踏まえ、道の対応が強化されるよう今後とも議論を続けていきたい」と話しています。

星野道議は、「洋上風力発電は今後再生可能エネルギーの主流になる。法律の制定を踏まえ、道の対応が強化されるよう今後とも議論を続けていきたい」と話しています。

星野道議は、「洋上風力発電は今後再生可能エネルギーの主流になる。法律の制定を踏まえ、道の対応が強化されるよう今後とも議論を続けていきたい」と話しています。

星野道議は、「洋上風力発電は今後再生可能エネルギーの主流になる。法律の制定を踏まえ、道の対応が強化されるよう今後とも議論を続けていきたい」と話しています。

食の安全を守る獣医師

食卓に並ぶ肉一枚も

厳しい安全管理の下で出荷 食の安全が、命を守る

しかし不足する公務員獣医師

道職員も 獣医師も

案外知られていないのが獣医師の仕事です。犬や猫の治療の他、家畜伝染病の予防、食肉検査、家畜の診療、動物や人の新薬開発、海外での技術協力なども獣医師の仕事です。

世界中が注目

安心で安全な道産食品はそのブランド力から、世界中で注目されています。北海道の豊かな自然や、そこで営農される農家の皆さんの日々の努力に支えられて素晴らしい道産食品が生まれること



星野道議が議会の質問つくりなどで連携し



原谷那美(はらや なみ)さん
国民民主党
参議院第4総支部代表

ているのは、札幌出身の原谷那美さんだ。原谷さんは、札幌西校を卒業後、小樽商科大学、酪農学園大学と二つの大学を出て、獣

医師資格を取得した。手稲の実家では、両親とともに、百四歳の祖母も健在だ。「世界に誇れる道産食品の安全を守りたい」と、全道で訴えている。動物病院にも以前勤務していた。現在は、国民民主党参議院第4総支部代表を務めている。FBは、「はらやなみ」で検索。北海道獣医師会会員。東区で夫と二人家族。34歳。

は間違いありません。そこで、世の中の目は、どうしても農業や酪農業水産業など、生産者や生産方法などだけに向きがちです。

厳しい食の安全管理

しかし見逃してはいけないのが、店に並ぶ肉の一枚いちまい、すべてが厳しい安全管理のもとに出荷されているという点です。そしてそれを担っ



道職員の説明を聴く道議

ているのが、獣医師なのです。北海道職員としての獣医師も、家畜保健衛生所や食肉衛生検査所など各地に配置されています。

ところが公務員(道職員)獣医師は慢性的な欠員状態が続いているのです。全道で必要な公務員獣医師数は5355名なのに比べて現在働いている数は、465名と圧倒的に不足しています。その原因は、待遇の悪さにあります。

国家資格をもつ獣医師が市内の動物病院に偏ってしまうのです。星野道議は、「放置できない問題だ。食の安全を守る」と言うことは、結果として道民の命を守ることにつながる。農政部や保健福祉部、環境生活部など関係するセクショントシツかり議論し、対策を強めていきたい」と話しています。

道政通信編集部は、松木けんこう前衆議院議員に年頭のインタビューを行いました。松木さん、今年の抱負を一言でお願いします。松木 人にとっての幸せの感

じ方は、一人ひとり違つと思ひます。健康で長生きしたい、安定した職場で働きたい、老後の不安

です。個人の努力でつかみ取れる幸せもありますが、どうしても無理な場合もあります。それをお手伝いするのが、政治の仕事だと、私は考えています。誰にでもチャレンジする権利はあります。でも様々な理由でチャレンジできないとしたら不幸なことです。だからそのための土台づくり、幸せの土台づくりをお手伝いできる一年に、是非していきたいと思ひます。



松木けんこう
前衆議院議員

を解消したい、マイホームを持ちたい、子どもにいい教育を受けさせたい、いつまでも平和な社会であつて欲しい、など

道議略歴

- 1951年…東京都葛飾区で生まれる
- 1970年…東京都立大理学部(物理)入学
- 1974年…緑の大地に憧れ来道
- 1975年…市営地下鉄南北線運転士
- 1995年…北海道議会議員初当選
- 2002年…議会エネルギー委員会委員長
- 2004年…民主党北海道幹事

- 2007年…議会経済常任委員会委員長
- 2008年…環境プロジェクト座長
- 2011年…脱原発プロジェクト座長
- 2013年…道民の日のプロジェクト座長
- 2015年…道議6日目当選
- 現在…東区国民民主党代表
国民民主党北海道副代表